いいたて便り

ひと月のできごとを振り返ってお知らせします

今年も中川村から おいしいネギが届きました

12/3

村と同じく「日本で最も美しい村」連合に加盟している長野県の中川村から、地域特産の「松本一本ネギ」約１万本が届きました。真っ直ぐのびた立派なネギは、支援者の皆さんの手で、菊池製作所やいいたてホームなど村内操業を続ける事業所に送り届けられました。村は、震災以来、支援をいただきながら中川村と交流を続けており、ネギ１万本は昨年に続く贈り物です。

心のこもったネギのお届け▶
いいたてホームに到着です

プロ野球選手がやって来た！

12/6

プロ野球・読売ジャイアンツの鈴木尚広選手（相馬市出身）と中井大介選手が草野・飯樋・臼石小学校を訪問し、３・４年生、５・６年生とそれぞれ交流しました。児童は、練習量や試練の乗り越え方について質問したり、一緒にキャッチボールや短距離走を行ったりして、時間いっぱい選手との交流を楽しみました。佐藤道也さん（草野小６年）は「握手をしたり触れ合えたのが楽しかった」と話していました。

◀ユーモアたっぷりのやり取りにワクワク

球界屈指の俊足・鈴木選手と短距離走で勝負！▶

新入生にもオリジナルＴシャツを

12/6

コシノファミリーがデザインを手がけた飯舘中学校のオリジナルＴシャツ。生徒たちが愛用し、学校生活に彩りを添えています。今後約３年先まで、入学して来る生徒も同じように着用できるよう、株式会社飯能パークカントリークラブから１３７着が新たに寄贈されました。同社施設の利用者とスタッフの募金により準備されたものです。寄贈に訪れた齋藤明子代表取締役社長には、村長から感謝状が手渡され支援への感謝が伝えられました。

▲左から２人目が齋藤さん。左端はコシノファミリーと村をつないでいる「マダム・タカコ・カンパニー」の鈴木尚子さん

いいたて便り

親子が触れ合う保育参観

12/6

やまゆり保育所で保育参観が行われ、親子が紙粘土と松ぼっくりを土台に、スパンコールやモールなどを使って、クリスマス飾りを作りました。また、「むっくりくまさん」の遊びや体操も一緒に行い、体を使った触れ合いもたっぷり。子どもたちはうれしそうな笑顔を輝かせました。

たくさん遊んだ後は、保育所内で作られている給食も一緒に。職員も交え、子どもたちの日頃のようすを話題に和やかに会食しました。

▲大好きなお父さん、お母さんと一緒に

手作りが楽しい▶
クリスマス飾り

スウェーデンからクリスマスのプレゼント

12/11

スウェーデンのガデリウス・ホールディング社の皆さんが、寄贈した空気清浄機を設置する草野・飯樋幼稚園と草野・飯樋・臼石小学校を訪れ、子どもたちへのクリスマスプレゼントとして保温に優れたカップを贈りました。

一行は、幼稚園では給食を一緒に食べたり、小学校ではスウェーデンを紹介する映像を上映したりして交流。子どもたちは北欧のクリスマスのようすを学びながら、交流を楽しみました。

▲年長児はサンタさんと給食。「おはしはこう持つんだよ」

12/13 避難後初、村老人クラブのゲートボール大会

▲ベテランも初心者も真剣に楽しく

村老人クラブ連合会と村社会福祉協議会が主催し、通算９回目となるゲートボール大会を、避難後初めて開きました。会場はヘルシーランド福島屋内ゲートボール場。30 人の参加者の中には初心者も多数いて、ルールや技術を教わりながら、元気にプレー。会長の髙橋二郎さん（関沢）は「運動を通した仲間作りです。休んでいた大会を開き、初めての人にも楽しんでもらえて良かった」と話していました。